

## HISTORY OF TACT

# TACT 400号記念 ～学報が歩んだ道～

『学報TACT』は、本号で通算400号を迎えます。これまで本学の教育・研究活動や学生の挑戦、国際交流など、56年にわたり「拓殖大学のいま」を皆さまにお届けしてきました。学報の軌跡とともに、かつて誌面を彩った“あとの人のいま”をご紹介します。

バックナンバー  
はこちる



**1号**  
(1969.11.15発行)

インターネットのない時代。当時は、時間割やクラブ活動、各課からのお知らせを伝える“ホームページ”的役割を果たしていた。



**200号**  
(1996.7.10発行)

1990年代から、新たに表紙を採用。



**266号**  
(2008.6.13発行)

表紙はカラー印刷、本文はモノクロで制作された。



**271号**  
(2009.5.15発行)

表紙・本文ともにカラー印刷となり、学報は全面フルカラーに。表紙には卒業生で元総合格闘家の須藤元気さんが登場。

モノクロ印刷からWEB発信の時代を経て、保護者向けに情報発信する役割も担うなど、学報は成長の過渡期を迎えていました。拓大110周年(文京キャンパス再開発)、東日本大震災、ロンドン五輪など学内外でも大きな出来事があり、私にとって非常に濃密な10年でした。

U-Y  
担当年号:2005年~2015年6月号



**300号**  
(2012.10.1発行)

ロンドンオリンピックでは、拓殖大学から9人のオリンピアンが出場し、2012年はスポーツの熱気にあふれた号となった。

「人生の今は拓大生が主人公である」とのメッセージを伝えたく、学生をカバーモデルに起用。誌面企画も学生の生活全般にまで広げ、大学からも積極的にメッセージを発信しました。「TAUTに出たいです!」と多くの声をもらえたのは製作冥利に尽きます。

おぐす  
担当年号:2015年7月号~2019年6月号



**325号**  
(2015.5.1発行)

『T-act』から『学報TAUT』へ改称。



**347号**  
(2017.10.1発行)

表紙デザインが一新され、ファッション誌風の華やかな装いに。

TAUT »

拓殖大学 »

1900 前身となる台湾協会学校が設立  
1918 拓殖大学と改称  
1919 校歌制定  
(作詞:宮原民平、作曲:永井建子)

1932 新校舎(現在の文京キャンパスA館)を竣工  
1964 東海道新幹線開通  
東京オリンピック開催  
1972 麗澤会海外派遣開始  
1987 工学部設置  
1995 阪神・淡路大震災  
2000 創立100周年  
国際開発学部(現:国際学部)設置  
2008 文京キャンパス内に新校舎(C館)完成

2010 あの人の、いま。  
2011 東日本大震災  
あの人の、いま。  
2012 ロンドンオリンピック開催  
あの人の、いま。

2015 商学部・政経学部を文京キャンパスに移転。  
外国语学部・工学部・国際学部を八王子国際キャンパスに再編。

2017

### PICK UP HISTORY

1900



初代校長 桂太郎  
拓殖大学の前身・台湾協会学校の初代校長に就任。

### PICK UP HISTORY

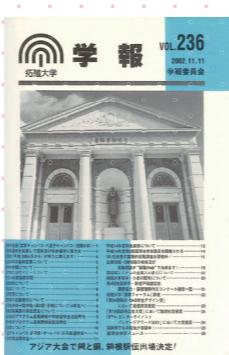
1934



A館と恩賜記念講堂

### PICK UP HISTORY

2002



**236号**  
(2002.11.11発行)  
2000年の新たな出発を機に開発されたシンボルマークを表紙に採用。

**281号**  
あの人の、いま。

PICK UP  
まどぐち  
えとう 窓口さん  
1996年 政経学部政治学科卒業



### 拓大的学びがいきるお笑いタレント

掲載当時は、コント芸人としてブチブレイクの最中で全国を飛び回っていました。現在は地元・大分県に移住し、主にピンでタレント活動をしています。拓殖大学では、政治学のセミナーで思考力や説得力を培い、その力は今も仕事で役立てています。卒業生で先輩の綾小路きみまさかさんとのロケは特別な経験でした。大分県支部総会に初めて参加した際には、久々に校歌斎唱と勝ちます踊り、押忍三唱をしました。大学時代の経験すべてが私の財産。遊びも学びも全力で頑張ってほしいです。

**284号**  
あの人の、いま。

PICK UP  
かつき ひでゆき  
香月秀之さん  
1980年 商学部経営学科卒業



「押忍」の精神とともに歩む映画監督  
掲載当時は、映画監督・脚本家として映画を振り終えばかりでした。現在も活動を続けており、拓大で培った「押忍」の精神—相手への敬意を忘れず、苦しい時こそ笑顔で耐え、常に学ぶ姿勢—が、今も私の基盤になっています。拓大生には、建学の理念にある“国際社会で活躍できる人材”をめざし、誇りを持って勉学やスポーツ、人脈づくりに励んでほしいと思います。卒業後も拓大とのつながりは続きます。

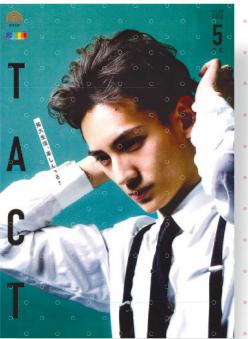


## HISTORY OF TACT

# TACT 400号記念 ～学報が歩んだ道～

時代は昭和から平成、そして令和へ。

『学報TACT』は、これからも  
“拓殖大学のいま”を皆さんに  
お届けしていきます。



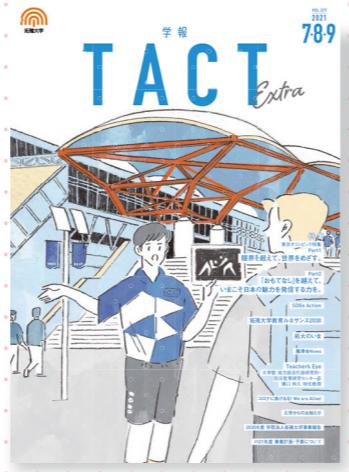
352号 (2018.5.1発行)



担当年号: 2019年7月号～2020年5・6・7月号

369号  
(2020.4.1発行)

従来の毎月発行から、  
2か月ごとの年6回発行  
に変更。



377号  
(2021.7.9発行)

TACT初のイラスト表紙に。イラストは卒業生で  
イラストレーターの高田和寛さん(P.15参照)  
が担当。

TA C T

»

2018

拓殖大学

»

2018

あの人の、いま。



356号  
あの人の、いま。  
PICK UP 鈴木 みなみさん  
2021年 商学部国際ビジネス学科卒業

374号  
あの人の、いま。  
PICK UP 尼合麦提 尼加提さん  
2021年 商学部経営学科卒業

多様な世界との出会いをいかし、  
楽しさを届ける

学生時代は麗澤会の海外派遣団に参加し、紅陵祭では夫のマットとともに留学生や在学生と各国の民族衣装を披露する「World Fashion Show」も企画しました。卒業後は中国企業に数年間勤務し、夫の支援を受けながら中国語を学びHSK(漢語水平考試)4級を取得。今後は、校歌の「人種の色と地の境我が立前に差別なし」のように、多様な国籍・世代の方へ「楽しい!」を共有できる活動を広めたいです。大学時代にしか得られない経験を大切にし、興味を持ったことには全力投球してください。



### 留学生と日本人をつなぐ架け橋

学生時代は「留学生パートナーズ」というサークルを立ち上げ、日本人学生と外国人留学生の交流に注力しました。拓大で培ったコミュニケーション力や相手の立場を考える姿勢は、現在の仕事でもいかされ、後輩育成では教える難しさと責任を日々実感しています。現在はリーダー職をめざし、専門知識の修得や資格勉強に励んでいます。在学生の皆さんには、「やらないで後悔するより、やって笑おう。たどえ失敗しても、その経験は知識となる」という言葉を胸に、自身の可能性を広げてほしいと思います。

先代の見栄えする誌面を踏襲しつつ、「読み物」としての大学冊子を意識して制作しました。読者が拓大の取り組みを体系的に理解し、飽きずに読み進められる構成を重視しています。コロナ禍における制約の中、デザイン学科のネットワークをいかし卒業生であるイラストレーターに制作を依頼。コンセプト設計から費用管理までを一貫して担い、思い入れ深い一冊となりました。

あみまる  
担当年号: 2020年8・9月号～2022年4月号



### 『当時の担当者から聞く』/ 製作の舞台裏

製作におけるキーワードは「憧れ」。大学生が実年齢よりも若干高い層の雑誌を好む傾向があることに着目し、ターゲット層をあえて21～22歳に設定。2018年4月号からは、ファッション業界の雑誌を手掛ける製作会社とタイアップして製作しています。

へら作  
担当年号: 2019年7月号～2020年5・6・7月号



「読んでもらう」というよりも「見てもらう」ことを意識し、文章量を抑えつつ、写真やイラストを多く用いて制作しました。誌面全体を通して直感的な内容が伝わる構成とし、手に取った人が気軽にページをめくれるよう工夫しています。特集企画としては、学生の関心が高いファッション特集や学食グランプリ紹介を掲載したほか、キャンパス周辺を含む学外のお店や施設の紹介もを行い、学生生活をより具体的にイメージできる内容としました。

おはな  
担当年号: 2022年5・6月号～2025年5月号



393号 (2024.5.1発行)

年6回の発行から季節ごとの  
年4回にリニューアル。



381号 (2022.4.1発行)

ツートーンの配色で、よりポップな  
印象に。



390号 (2023.10.1発行)



397号  
(2025.5.1発行)

TACT WEBを  
リニューアル。



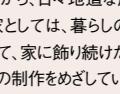
2025  
NOW

2025  
ロゴマークのリニューアル  
創立125周年



380号  
あの人の、いま。  
PICK UP 高田 和寛さん  
2012年 工学部工業デザイン学科(現:デザイン学科)卒業

地道に活動を続けるイラストレーター  
現在もインテリア関連の会社に勤めながら、イラストレーターとして活動しています。2021年度には初個展の開催やTACTの表紙制作、TIS(東京イラストレーターズ・ソサエティ)公募入選など大きな転機がありました。3年前に群馬県高崎市へ移住して以降は、地域での活動も徐々に広げています。拓大で培った「物事を探究する姿勢」を大切にしながら、日々地道な成長を実感。作家としては、暮らしの風景の一部として、家に飾り続けたくなるような作品の制作をめざしています。



NEW



400号 (2026.2.2発行)

2025

TACT WEBを  
リニューアル。



2025  
NOW

2025  
ロゴマークのリニューアル  
創立125周年



380号  
あの人の、いま。  
PICK UP 高田 和寛さん  
2012年 工学部工業デザイン学科(現:デザイン学科)卒業

地道に活動を続けるイラストレーター  
現在もインテリア関連の会社に勤めながら、イラストレーターとして活動しています。2021年度には初個展の開催やTACTの表紙制作、TIS(東京イラストレーターズ・ソサエティ)公募入選など大きな転機がありました。3年前に群馬県高崎市へ移住して以降は、地域での活動も徐々に広げています。拓大で培った「物事を探究する姿勢」を大切にしながら、日々地道な成長を実感。作家としては、暮らしの風景の一部として、家に飾り続けたくなるような作品の制作をめざしています。

